

平成29年2月22日

和光市教育委員会
教育長 戸部 恵一 様

和光市文化財保護委員会
委員長 田中 明

午王山遺跡発掘調査出土の弥生時代遺物の文化財指定について（答申）

平成27年2月18日付け、和教生第179号で諮問された「午王山遺跡発掘調査出土の弥生時代遺物の文化財指定」について、審議した結果を別紙のとおり答申いたします。

午王山遺跡の弥生土器の指定について

午王山遺跡の弥生時代の環濠集落から出土した多くの土器は、中期末から後期初頭に、集落の形成と環濠の掘削をはじめ、終末期には村が廃絶し、古墳時代に継続していない。一般的に弥生時代の環濠集落は、終末期でほとんどが廃絶し、古墳時代まで継続する遺跡は少ない。一例を挙げると奈良県の弥生時代前期から後期に継続した、唐古・鍵遺跡から纏向遺跡への移動に象徴されるが、東海地方から南関東地方で発展した環濠集落の多くが、古墳時代に継続しない。北区赤羽台遺跡の弥生時代の環濠は、後期に廃絶し古墳時代には西側に方形遺構の居館が形成され、社会構成の変化を示すことになる。

午王山遺跡の環濠集落は、ほぼ弥生時代後期の 200 年間に継続したと考えられ、土器の型式の変化が長期に及ぶことになる。南関東地方の中期末の宮ノ台式から、後期の久ヶ原式と弥生町式に、古墳時代と考える前野町式まで、学史による分類が長く使用されてきた。

今回の市指定の候補となった弥生土器は、多くが南関東系の宮ノ台式から弥生町式に属すると考えているが、遺跡の内容から複雑な様相を示している。北関東系の櫛目文土器の岩鼻式土器や、縄文と輪積痕が特徴の吉ヶ谷式土器との関係を窺わせる北からの土器群と、櫛状工具による連続刺突文の羽状文壺形土器が、東海地方の静岡県(遠江)中部の菊川式に類似する土器も出土し、南北の遠隔地との交流を示している。銅鐸型土製品は、東海地方の三遠式銅鐸や小銅鐸との関連が想定できる。

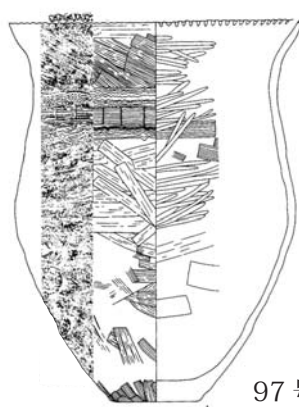
指定候補の弥生土器は、竪穴住居跡と環濠からの出土品に大別され、前者の集落の開始期の中期末の特徴を示す 82 号、後期はじめの北関東系の 97・1・108・74・141 号と、南関東系前半の 137・5 号のナデ整形甕から、後半の 75・57・109・62 号の刷毛整形甕に分けてみた。環濠 2 号の溝中から発掘した土器群は、壺・甕・鉢・埴の全形の状態の良好な土器を中心に、壺と鉢は文様の特徴を考慮して選択した。住居跡の 69・141・116 号の土製品と、99・95 号と 2 号溝の手捏土器に土鈴と青銅製品を加えた。

環濠 2 号の銅鐸型土製品は、3 点が西溝で第 5 次、南溝で第 3・7 次に出土し、様々な特徴で銅鐸そのものか小銅鐸を模倣したか不明である。朝霞市向山遺跡の 2 点と板橋区四葉地区遺跡群でも 1 点が報告されている。

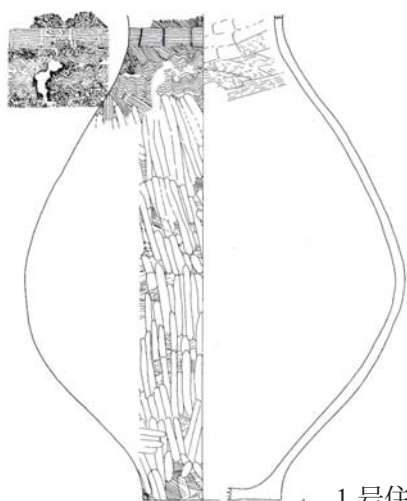
住居跡の土製品は、勾玉形 3 点・円形土板 4 点・小玉 4 点・不整形 1 点に、環濠 2 号の円形土板があり、装飾か信仰の意義があるか問題である。



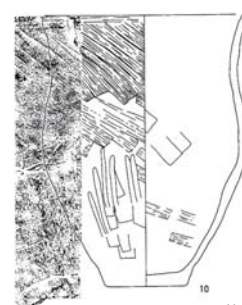
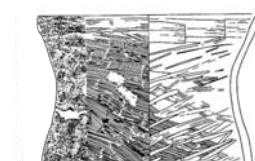
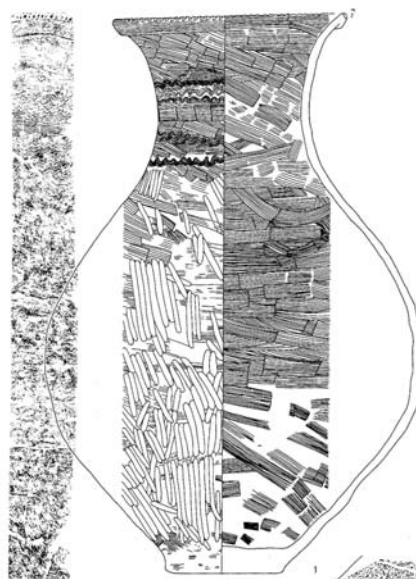
82 号住居跡



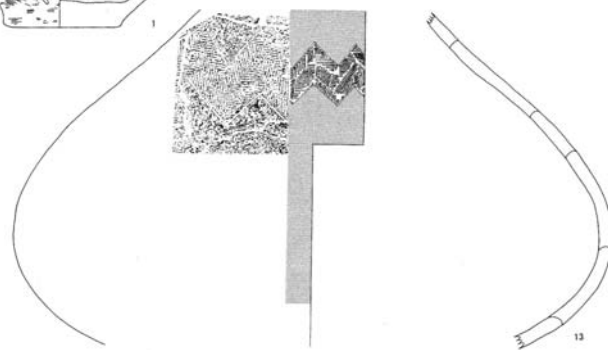
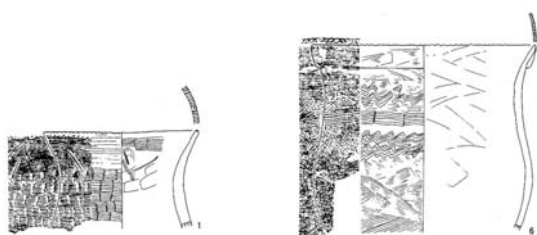
97 号住居跡



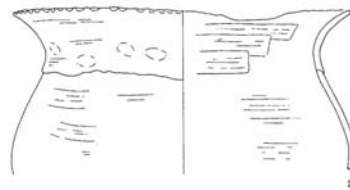
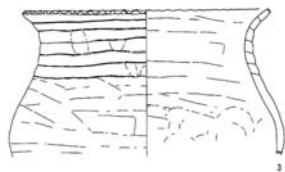
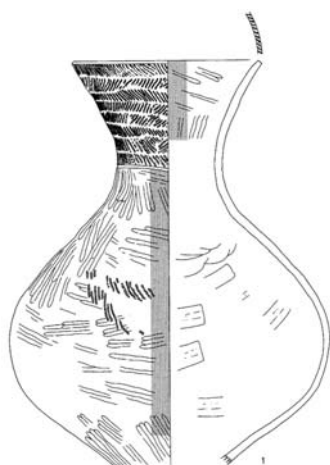
1 号住居跡



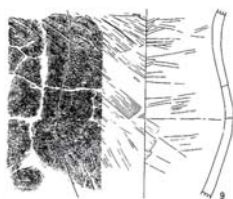
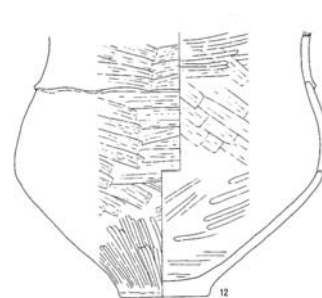
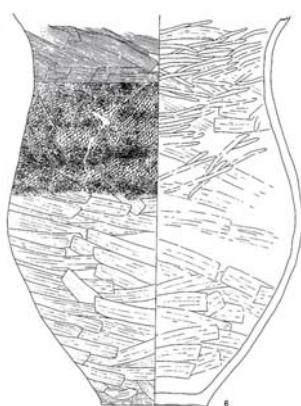
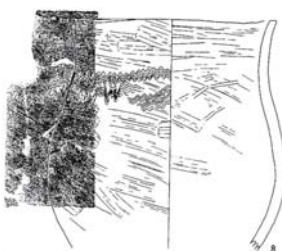
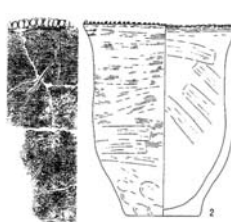
108 号住居跡



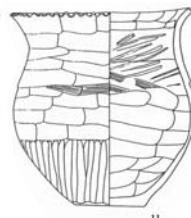
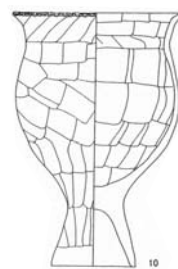
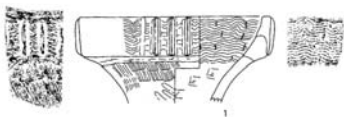
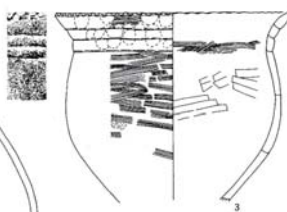
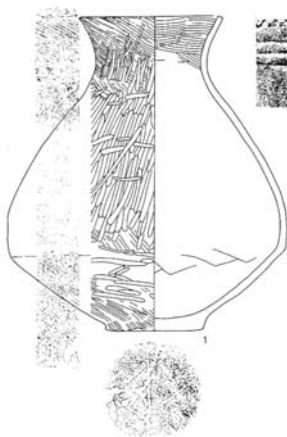
74 号住居跡



137 号住居跡



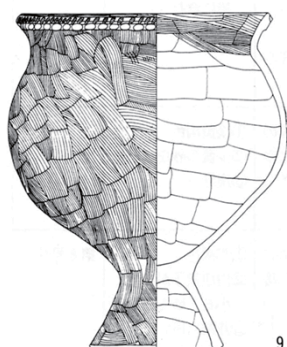
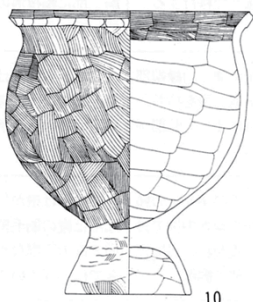
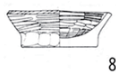
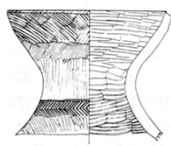
141 号住居跡



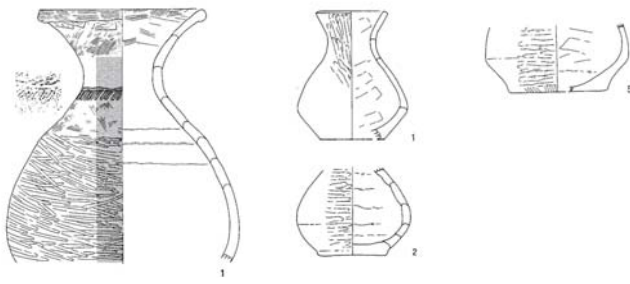
96 号住居跡

100 号住居跡

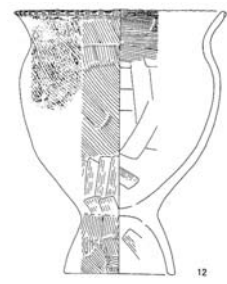
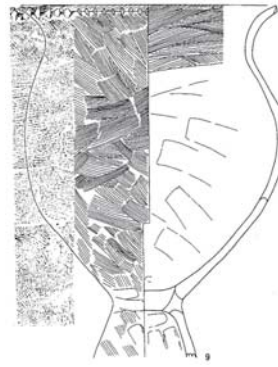
5 号住居跡



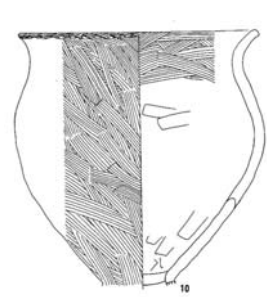
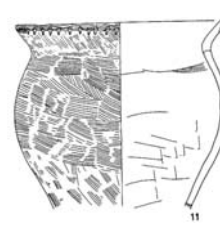
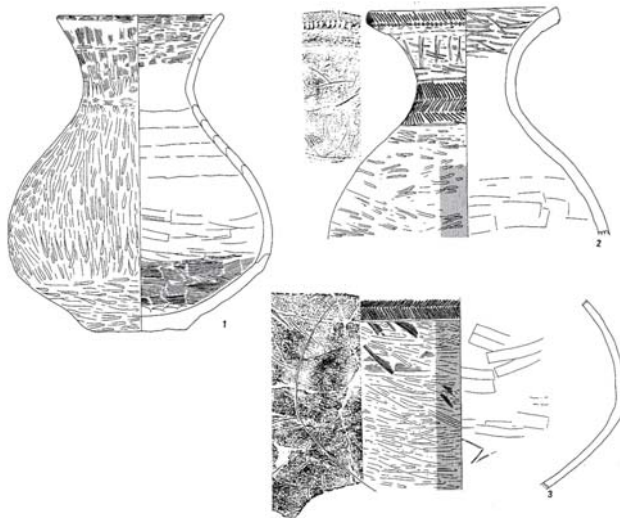
9 10 号住居跡



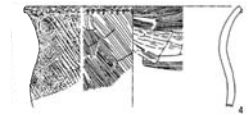
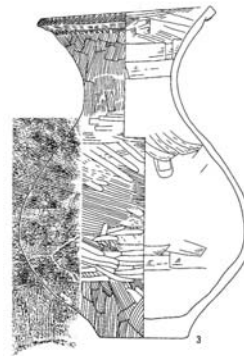
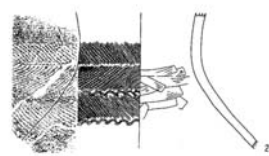
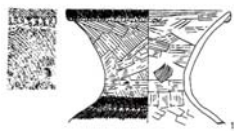
63 号住居跡



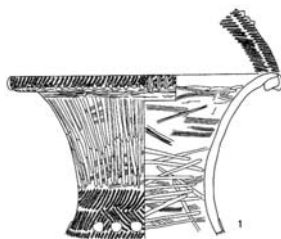
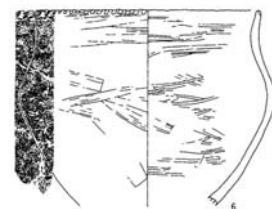
75 住居跡



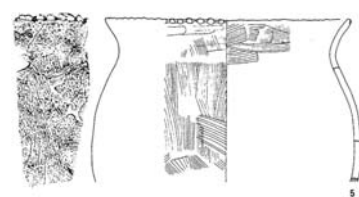
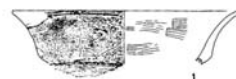
57 号住居跡



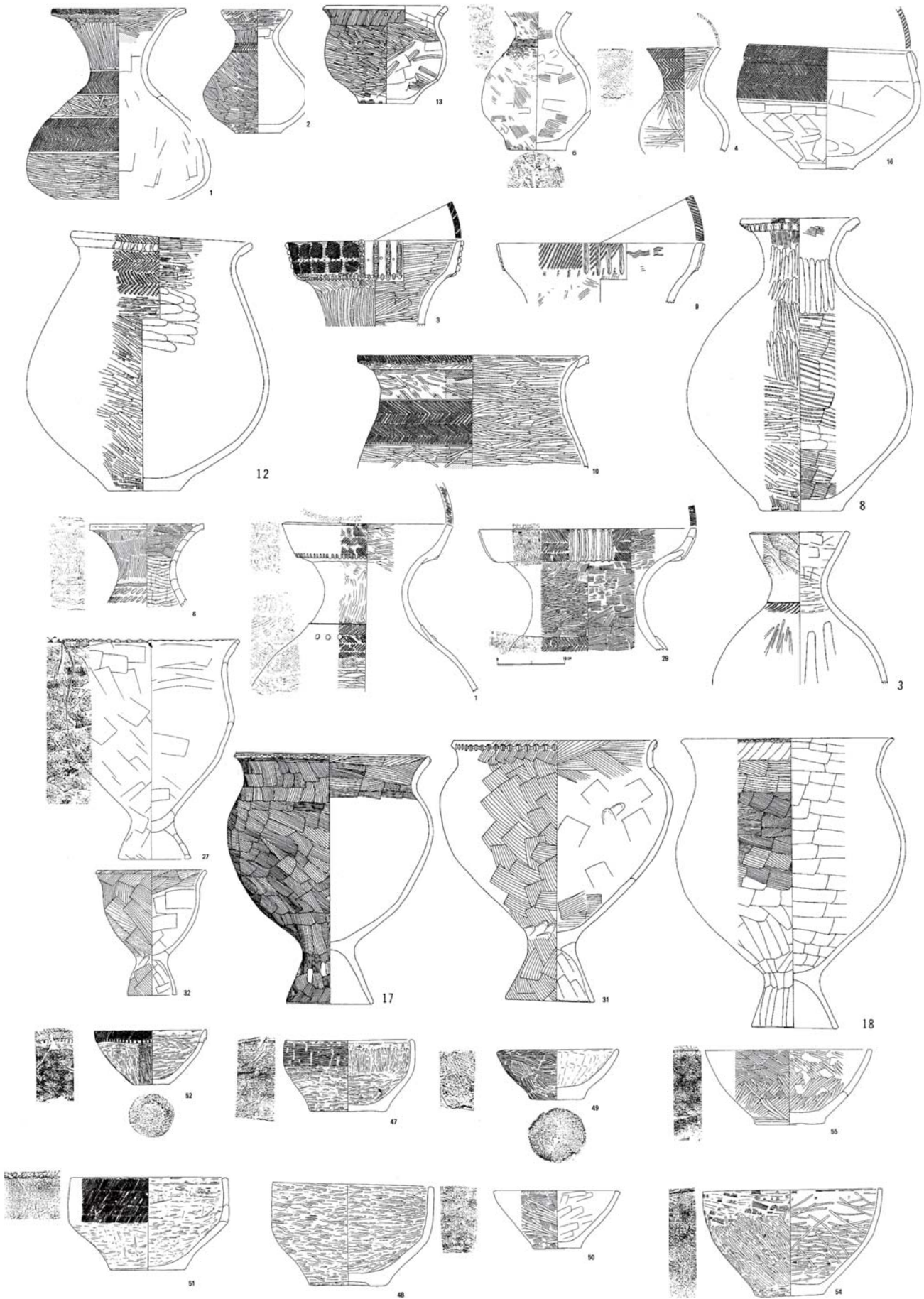
109 号住居跡



51 号住居跡



62 号住居跡



2 号溝



69 号住居跡



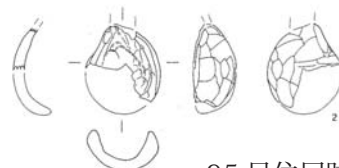
141 号住居跡



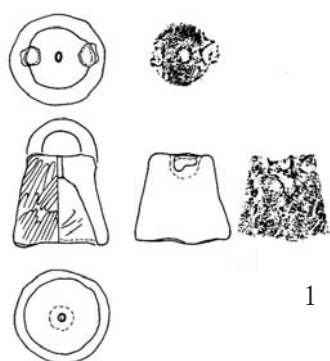
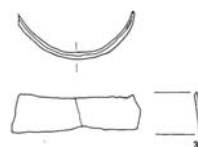
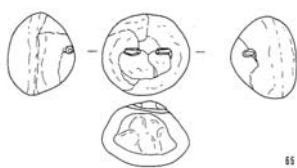
116 号住居跡



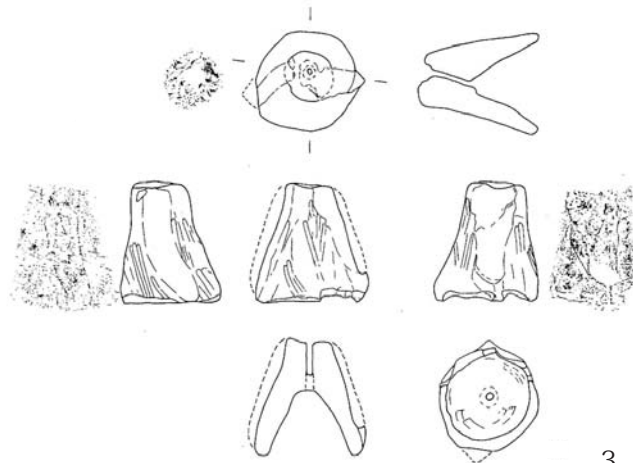
99 号住居跡



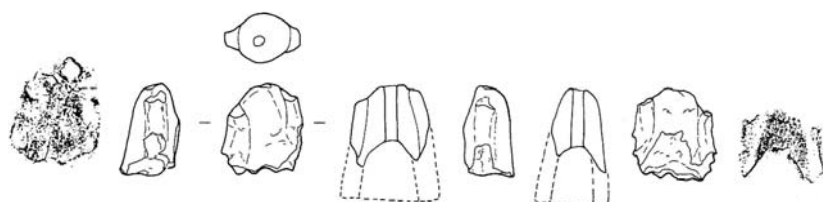
95 号住居跡



1

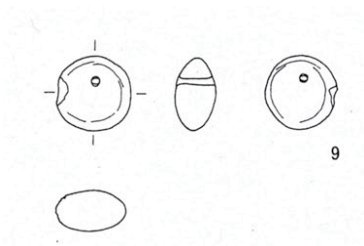


3

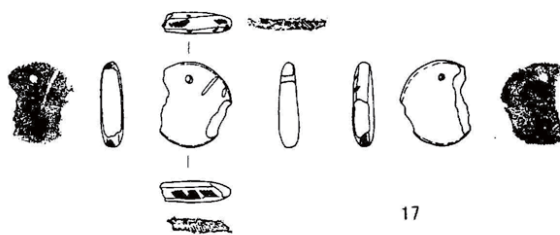


2





5 号住居跡



77 号住居跡



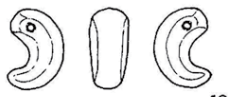
17



60・61 号住居跡



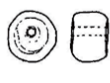
84 号住居跡



97 号住居跡



100 号住居跡



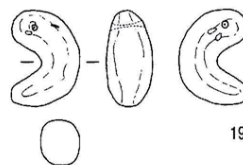
17

108 号住居跡



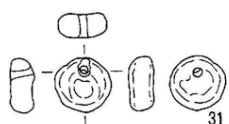
7

129 号住居跡



19

132 号住居跡

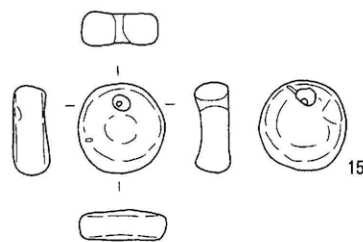


31

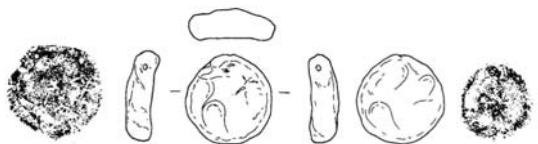
141 号住居跡



144 号住居跡



15



64

2 号溝

